

けんれんいばらき



2024
8月

茨城県生活協同組合連合会

第52回 通常総会 開催

議案はすべて賛成多数で可決

2024年6月29日、茨城県生活協同組合会第52回通常総会がホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸において、代議員53名中、本人34名、書面18名、委任1名で開催されました。

議長は、いばらきコープの川端代議員が選出され議事が進行されました。

茨城県県民生活環境部生活文化課 課長 佐藤隆史様、茨城県農業協同組合中央会 農政・地域対策部 部長 笠倉英行様、全国農業協同組合連合会茨城県本部 本部長 鴨川隆計様、日本生活協同組合連合会 中央地連 事務局長 井爪宏行様にご臨席いただき、茨城県県民生活環境部生活文化課 課長 佐藤隆史様と茨城県農業協同組合中央会 会長 八木岡 努様（ビデオメッセージ）から祝辞を頂きました。

2024年度活動方針では、3つの重点課題が報告され、(1).多様な社会課題の情報共有の機会をつくり、学びと連携強化をめざすこと、(2).会員生協の役職員・組合員理事を中心とした学習や研修会、会員生協の活動交流（コミュニケーション機会）の実施をめざすこと、(3).情報発信と協同組合間協同のあり方を探り、2025年「国際協同組合年」に繋げることが提案されました。

役員選任では、新任理事6名が加わり、新たな役員体制で事業運営を進める提案がされました。第1回理事会を開催し、役割分担が会長理事 鶴長義二氏、副会長理事 青木恭代氏、木村千秋氏、専務理事 井坂寛氏、常務理事 堀江満氏、中山幸男氏、岡部佳代子氏となることが報告されました。

また6名の代議員からは、議案提案の活動を補強するためのご発言を頂き、県生協連として受け止め2024年度の活動に反映し強化していくことが話されました。

第1号議案「2023年度の活動報告及び決算報告・剰余金処分(案)」の件

反対0 保留0 賛成多数

第2号議案「2024年度活動方針(案)・予算(案)」の件

反対0 保留0 賛成多数

第3号議案「役員選任」の件

反対0 保留0 賛成多数

議案はすべて賛成多数で可決されました。

【ご発言者】



県生活文化課 佐藤課長様のご挨拶



茨城県JA中央会 八木岡会長様からのビデオメッセージ



八百川代議員
(いばらきコープ)



小島代議員
(いばらきコープ)



宮下代議員
(ハルシステム茨城 栃木)



鶴長会長の挨拶



佐藤代議員
(ハルシステム茨城 栃木)



川畑代議員
(生活クラブ生協)



廣澤代議員
※ 代読 やさと農協 吉岡様

2024年役員体制

代表理事会長理事	鶴長 義二	(員外)
副会長理事	青木 恭代	(生活協同組合パルシステム茨城 栃木 代表理事 理事長)
副会長理事 (新任)	木村 千秋	(いばらきコープ生活協同組合 代表理事 理事長)
代表理事専務理事	井坂 寛	(員外)
常務理事	堀江 満	(茨城県庁生活協同組合 専務理事)
常務理事 (新任)	中山 幸男	(茨城県学校生活協同組合 代表理事 理事長)
常務理事 (新任)	岡部 佳代子	(茨城保健生活協同組合 常務理事)
理 事 (新任)	柿崎 洋	(常総生活協同組合 代表理事 専務理事)
理 事	大平 隆史	(生活クラブ生活協同組合 代表理事 専務理事)
理 事	逸見 恵介	(茨城大学生生活協同組合 専務理事)
理 事 (新任)	岩間 信之	(茨城キリスト教学園生活協同組合 代表理事 専務理事)
理 事	古山 均	(医療福祉生活協同組合いばらき 代表理事 理事長)
理 事	阿部 正浩	(茨城県民生活協同組合 常務理事)
理 事 (新任)	飯倉 裕之	(茨城県勤労者共済生活協同組合 専務理事)
理 事	神生 賢一	(やさと農業協同組合 代表理事 組合長)
監 事	鴨志田 和宏	(いばらきコープ生活協同組合 常勤監事)
監 事	山川 晴美	(生活協同組合パルシステム茨城 栃木 監事)
監 事	尾又 亮平	(茨城県庁生活協同組合 常務理事)



会場の様子



議案採決の様子



新役員の紹介



退任される方の紹介

ありがとうございました

退任される方

柴崎 敏男 (いばらきコープ生活協同組合)
伊藤 博久 (常総生活協同組合)
吉田 豊 (茨城県学校生活協同組合)
海老澤 文範 (茨城保健生活協同組合)
小山 浩明 (茨城大学生生活協同組合)





会員紹介 **4** 茨城県勤労者共済生活協同組合(こくみん共済 coop 茨城推進本部)

外観写真はGoogle MAPより

「共済」を通じて 人と人との「たすけあいの輪」をむすぶ

インタビュー

interview



飯倉 裕之

こくみん共済 coop 茨城推進本部 事務局長



伊藤 秀明

こくみん共済 coop 茨城推進本部 事業推進部長

誰かが困ったときは
みんなで支え、たすけあう

誰でも一度は目にしたことがあるのではないのでしょうか? 「こくみん共済〜♪」のサウンドロゴでお馴染みのテレビCM。映像内にさりげなく登場する公式キャラクター・ピットくんのかわいらしさも印象的です。「こくみん共済 coop」は、正式名称を「全国労働者共済生活協同組合連合会」(略称: 全労済)と言い、共済事業を専門に扱う生活協同組合です。創立60周年を節目に、同会の活動や本質を、広く分かりやすく社会へ発信するため、新ブランド「こくみん共済 coop」を設定。正式名称や略称はそのままに、新しい姿を表す愛称として「こくみん共済 coop」の活用を始めました。



茨城推進本部
ご当地ピット君

働く仲間の共済として「たすけあいの輪」が始まったのは、今から70年前のこと。1954年12月、大阪労済が開始した火災共済事業でした。そこから他県でも労済が発足し全国へ広がったわけですが1955年、共済事業の存続を揺るがす大きな出来事がありました。新潟大火の発生です。約1,200世帯6,000人近くが罹災し、発足からわずか5か月の新潟労済は、掛金収入を上回る給付金の支払いという困難に直面。非常に厳しい状況でしたが、労働組合の支援などで乗り越えることができました。借金はいつかは返せるが、失った信頼は永久に取り戻せない。この教訓は同会の活動指針となり、今に生きてい

ます。「当職員も多くが被災者となった東日本大震災では、全国から全労済の職員に応援に来てもらい、県内の被災された組合員に給付金をお支払いしました」と飯倉事務局長。創立以来、数々の自然災害に見舞われるたび、被災者の生活再建に全力で取り組んできました。

組合員の力を合わせ 地域社会にも貢献する

元々は各都道府県で労働者共済事業として始まり、全国組織化へと進んだ同会は、「連合会」と「単一事業体」2つの性格を持つ組織です。連合会としての「こくみん共済coop」は、58会員で構成され、茨城労済も構成会員の一つです（茨城労済は1957年に、火災共済から事業を開始）。一方、単一事業体としては7つの統括本部があり、運動方針、共済事業、損益会計、機関・事務局運営を一本化して運営。茨城推進本部は「関東統括本部」に属し、組合員数は32万4,000人、出資金は26億3,500万円で、共済加入件数は66万2,000件、受入掛金は年間136億円となっています（2023年5月時点）。事業は、人の保障・住まいの保障・車の補償の3つの保障分野を柱に、病気・けがなど万への備えの「こくみん共済」、火災や自然災害から家と家財を守る「住まい共済」、自動車総合補償共済の「マイカー共済」など、多様な保障を提供しています。中でも特徴的なのは、火災共済・自然災害共済の掛金が全国一律ということや、団体生命共済の組織一律加入制度は、労働組合などを通じて、健康状態に関わらず組合員全員が加入できるということ。たすけあいから生まれた保障の生協ならではの仕組みです。

「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を理念に掲げる同会は、社会活動にも力を入れています。子どもを交通事故から守る「7才の交通安全プロジェクト」では、マイカー共済の見積もり1件につき、1本の横断旗を全国の小学校などに寄贈。他社では加入しないと寄付が発生しない場合が多い中、見積もりだけで寄付を行っており、累計寄贈数は100万本に上っています。茨城でも今年1月につくば市の小学校PTAへ380本を贈るなど多くの小学校に寄贈しています。



小学生の登下校時のイメージ



茨城推進本部が独自に行った「可処分所得向上 & 社会貢献キャンペーン」で寄付金を贈呈。



いばらき子ども食堂応援募金
寄附金 贈呈式

さらに茨城推進本部独自の活動では、県内12地区で行った「可処分所得向上&社会貢献キャンペーン」があります。他社からのマイカー共済への移行によって生じた可処分所得の向上額は合計約1,400万円を超え、平均2万4,208円（年間）に。向上額の合計金額の1%相当をいばらき子ども食堂応援募金（茨城NPOセンター・コモンズ）に寄付しました。伊藤部長は「実質賃金下がっている中、組合員の家庭負担軽減につながりました」と手応えを語ります。

共済の事業環境は人口減少などもあり厳しさを増しており、多様化するニーズにどう対応していくかが課題となっています。そんな中、2023年には組合員の生涯をトータルに支える「新しいたすけあい」が登場。公式アプリと連動し、生活・保障の設計サポート、社会課題への参画など、多彩なサービスを通して、組合員の暮らしを総合的に支えます。飯倉事務局長は「保障内容や掛金面での強みだけでなく、組合員の皆さんと一緒に様々な活動を展開していく中で、組合員であることへの誇りを醸成していければ。これからも個々の組合員に寄り添い、ニーズを深掘りしてお役立ちに貢献できる仕組みづくりを目指していきたい」と語ります。



子どもを交通事故から守る「7才の交通安全プロジェクト」で、つくば市の小学校PTAに横断旗380本を寄贈。

県生協連の主な活動



3/12

茨城県生協連主催、協同組合ネット
いばらき共催
協同組合原則学習会を開催



4/13

2024ピースアクションinいばらき春
～戦争の足跡 見て考えよう～を開催
予科練平和記念館・雄翔館を見学



5/20

県消費者団体連絡会主催、茨城県・
茨城県生協連共催
「茨城県消費者フォーラム」開催



5/24

とみおかアーカイブミュージアム、福島
第一原発廃炉作業の見学会を実施



3/12

茨城県生協連主催、協同組合ネット
いばらき共催
組合員活動交流会を開催



6/29

「多様性の社会～子どもが自分らしく
生きられる社会とは」
オンライン学習会

機関会議報告



2023年第7回理事会

開催日時: 2024年5月15日(水) 13時30分～15時00分

開催場所: 茨城県JA本館4階 第一会議

出席: 理事14名、監事3名、オブザーバー2名、事務局1名

議事の経過と結果:

理事鶴長義二は、自ら議長にあたる旨提案し、出席理事に諮った。出席理事は、全員が承認した。その後、理事の出席状況を確認し、本理事会が成立していることを宣言し、議事に入った。

【議決事項】

- (1). 2023年度決算報告と剰余金処分案及び監査報告について提案、監査報告を監事より報告し承認された。
- (2). 2024年度全体区分理事推薦について提案し承認された。
- (3). 2024年度役員選任について提案し、役員推薦委員会委員長の報告がされ承認された。
- (4). 第52回通常総会代議員定数について提案し承認された。
- (5). 第52回通常総会議案書(案)について提案し承認された。また、理事より会員生協の事業や活動の支援について、おたがいさまの活動を他地域に広める際に県生協連の支援、協力の要請があり、議案書に追記することとした。
- (6). 第52回通常総会の役割分担とスケジュールについて

提案し承認された。

- (7). 日本生協連第73回通常総会代議員選出について提案し承認された。

2024年第1回理事会

開催日時: 2024年6月20日(木) 12時00分～12時15分

開催場所: ホテル・ザ・ウェストヒルズ・水戸

出席: 理事14名、監事3名、事務局1名

議事の経過と結果:

理事鶴長義二は、自ら議長にあたる旨提案し、出席理事に諮った。出席理事は、全員が承認した。その後、理事の出席状況を確認し、本理事会が成立していることを宣言し、議事に入った。

【議決事項】

- (1). 代表理事選定について提案し、鶴長義二、井坂寛の代表理事2名体制で承認された。
- (2). 会長理事、副会長理事、専務理事、常務理事の選出ならびに職務順位について提案し、以下の通り承認された。
会長理事 鶴長義二
副会長理事 青木恭代、木村千秋
専務理事 井坂寛
常務理事 堀江満、中山幸男、岡部佳代子
職務順位
副会長理事 1位 青木恭代 2位 木村千秋
常務理事 1位 堀江満 2位 中山幸男 3位 岡部佳代子
- (3). 専務理事の役員報酬について提案し承認された。



県生協連からのお知らせ

01

とみおかアーカイブミュージアム・福島第一原発廃炉作業の見学会を実施

(主催 茨城県生活協同組合連合会)

2019年から毎年実施している福島第一原発廃炉作業見学会を5月24日(金)に実施をしました。会員生協の役職員、組合員、総代の25名が参加しました。



とみおかアーカイブミュージアム



福島第一原発2号機

今回は、とみおかアーカイブミュージアム見学も行い、地震・津波、また福島第一原発水素爆発発生後の富岡町の状況が展示されている資料館見学、被災者の証言映像などを視聴しました。

その後、東京電力廃炉資料館にて廃炉作業と福島復興の進捗動画を視聴し専用バスで福島第一原発へ移動。廃炉作業をすすめる1号～4号機の原子炉建屋から約100mの見学用丘から作業状況の説明を受けました。空間線量は風

向きで変動しますが発構内入口からは30～60μ

Sv/hまで引き上がります。長時間滞在はできず15分程度の説明・見学の時間でした。2号機でデブリ取り出しが成功しましたが、瓦礫が蓄積している1号機構内からの取り出しは方法も含めて時間がかかっています。また、ALPS処理水海洋放出のALPS処理水希釈放出設備の見学・説明を受けました。WHO飲料水に含まれるトリチウムガイドラインは1万Bq/L。福島第一原発海洋放出では1500Bq/Lと決められていて、現在は250Bq/Lとのことでした。

汚染土は中間貯蔵施設に移されて、除染作業もすみ帰還困難区域解除が広がっています。新たに建物や家が建てられいますが、未だ2万人以上の人たちが避難生活を送っており、自分の生まれ育った福島に戻り、仕事と生活が出来るようになるには多くの時間が必要です。

02

2024ユニセフ国際理解講座 第3回

グローバルな衛生課題の解決に向けて～世界中にトイレと手洗いを～

(主催 茨城県ユニセフ協会)

○日 時 2024年 9月28日(土) 14:00～15:30(受付13:30～)

○会 場 水戸市民会館中会議室 住所/水戸市泉町1-7-1

○講 師 株式会社LIXIL Dr. Dave Mateo

○対 象 どなたでもご参加いただけます。 ○参加費 無料

○募集人数 会場参加 70名/オンライン(ZOOM)参加 100名

○申込み 9月24日(火)までにURLまたはQR(二次元バーコード)からお申込みください。

■申込みURL <https://ws.formzu.net/fgen/S827844210/>

■QR→



03

2024ピースアクションinいばらき夏

(主催 茨城県生活協同組合連合会)

1部: ピースアクションinヒロシマ参加者報告会

2部: 基調講演「戦争のつくられ方、平和のつくり方」

講師/茨城大学 近代史 教授 佐々木 啓氏

3部: パネルディスカッション

○日 時 2024年 8月27日(日) 10:00～12:00

○会 場 茨城大学 人文社会科学部10番教室 住所/水戸市文京2-1-1

○対 象 会員生協の方、一般の方

○募集人数 会場参加 200名 ○参加費 無料

○申込み 8月15日(木)までにURLまたはQR(二次元バーコード)からお申込みください。

■申込みURL <https://ws.formzu.net/sfgen/S467600222/>

■QR→



2023ピースアクションinいばらきの様子

県生協連の活動予定

茨城県生協連

7月～9月の 主な行事予定



2024年 7月	10日(水)～12日(金)	フードバンク子ども応援プロジェクト
	16日(火)	おたがいさま水戸事務局会議
	17日(水)	第2回理事会
	19日(金)	茨城県ユニセフ協会理事会
	23日(火)	第48回茨城県消費者大会 / 茨城大学「協同組合論」講座
8月	4日(日)～6日(火)	ピースアクションinヒロシマ
	20日(火)	おたがいさま水戸事務局会議
	21日(水)	役員会
	25日(日)	ピースアクションinいばらき夏
9月	2日(月)	第3回組合員活動責任者会議 / 第4回ピースアクション実行委員会
	9日(月)	おたがいさま水戸事務局会議
	13日(金)	茨城県ユニセフ協会運営委員会
	18日(水)	第3回理事会
	20日(金)・21日(土)	日本生協連県連活動交流会
	24日(火)	日本生協連中央地連運営委員会
	27日(金)	茨城大学「大学生と消費生活」講座開講 / 職域委員会



9月は「高齢者悪質商法被害防止月間」です！

高齢者は「お金」「健康」「孤独」の3つの大きな不安を持っているといわれています。
悪質業者は言葉巧みにこれらの不安をあおり、親切にして信用させ、大切な財産を狙っています。

高齢者の消費者トラブルを防ぐためには、不審な人間が出入りしていないか、困った様子がないか等、日頃から高齢者の身近にいる周りの方が変化にいち早く気づくことがとても重要です。消費生活センター等への相談は、家族やホームヘルパー、地域包括支援センター職員など、本人以外からでも可能です。身近な高齢者がトラブルにあっているのではないかと気づいた場合は、できるだけ早く相談してください。また、県消費生活センターホームページやSNSで、県民のみなさまにご注意いただきたい情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

高齢者からこんな相談が寄せられています

「近くで屋根工事をしているのであいさつに来た。お宅の屋根を点検してあげる」と言って突然業者が訪問し、点検を依頼しているのに屋根に上がった。業者から自宅の屋根のものだという写真を見せられて「瓦がずれている。このままでは隣家に落ちて危険だ。雨漏りも心配だ」と言われ、不安になり工事の契約をしたが、解約したい。



アドバイス

- ・突然訪問してきた業者には安易に点検させないようにしましょう。
- ・すぐに契約せず、他の会社に確認するなど、十分に検討したうえで契約しましょう。
- ・保険金を利用できるという話には気をつけましょう。
- ・クーリング・オフ等ができる場合もあります。
- ・少しでも不安を感じたら、すぐに消費生活センター等に相談しましょう。



一人で
悩まず
ご相談を

消費者ホットライン

☎188 (いやや)へ！

お近くの消費生活相談窓口、または国民生活センターをご案内します。

茨城県消費生活センター ホームページは

いばらき消費生活ナビ

検索

